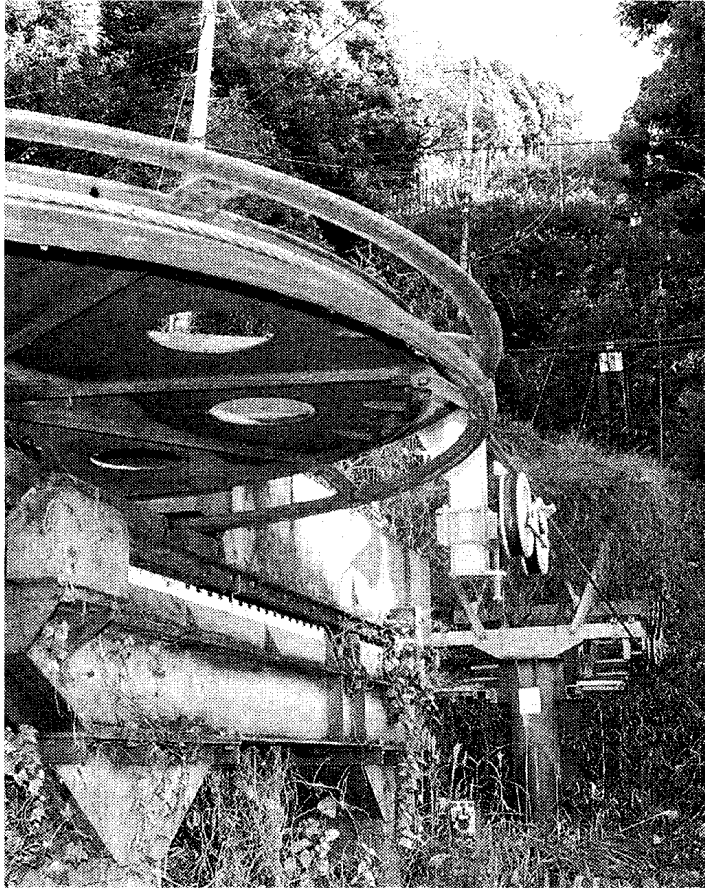


スキーシーズンを控え、滋賀県米原市の伊吹山スキー場が営業休止になる見通しであることが2日、地元関係者の話で分かった。近年の雪不足と運営会社の経営難で、昨シーズ

ンからリフトやレストランは休止されているが、今シーズンはゲレンデも荒れ放題。市によると、会社側と連絡が取れず休止は必至の状況だ。

# 伊吹山スキー場 今年も×?



休止した状態で放置されている伊吹山1合目のリフト  
＝滋賀県米原市上野

## 雪不足、経営難、ゲレンデ荒れ放題

H21.12.3

スキー場用地を貸している上野地区の鹿取豊区長は「警察、消防などを交えた協議会も開けず、地元としては受け入れ態勢ができていない。スキー客が勝手に滑って事故でも起きたら…」と困惑している。

市によると、同スキー場は昭和31年に開業。伊吹山麓南斜面に位置し、ピークの昭和59年には約18万人

が訪れた。近年は雪不足で激減し、一昨年は約6千人だった。

スキー場を運営する「ピステジャポン伊吹」（本社・東京）は平成17年に鉄道会社から経営権を引き継いだ。しかし、ここ数年の雪不足がたたり Gondola やリフト、レストランは昨年9月から休止、点検作業もせずに放置している。

毎年この時期には、会社や地元関係者、警察、消防などが協議会を開くのが慣例だが、市が会社側に問い合わせても「社長に伝えておく」との回答のみ。周辺の民宿や売店、駐車場関係者の不安は大きく、社長と唯一、携帯電話で連絡を取ることができた区長が近く面談し、今後の方針を確認するという。

## 伊吹山スキー場 再開

### 東京の企業 営業譲渡へ

H17.12.8

近江鉄道（滋賀県彦根市）の経営撤退で成り行きが目ざされていた伊吹山スキー場（同県米原市）について、スキー場再生事業などを手がける東京都のピステグループが新会社を設立し、地元財産区の管理者（平尾道雄米原市長）から正式な土地の使用許可を得たことが8日、分かった。近江鉄道との経営引き継ぎ協議もほぼ終え、許可の手続きを待つて近く正式発表、年内にも営業を再開する。

目を指すが、Gondola やリフト運行の許可などが必要で、遅れる可能性もある。

関係者によると、新会社「ピステジャポン」は近江鉄道と営業譲渡について大筋で合意。スキー場の土地は来年夏まで近江鉄道が賃借契約を結んでいるため、当面、第三者としての使用許可となる。

同スキー場は昭和三十二年から近江鉄道が経営。京阪神に近いことから人気を集め、ピーク時の五十九年には約十九万人が利用した。しかし近年は雪不足などで客が減少、六十二年以降は赤字が続いた。

営業開始は今年二十三

昨シーズンは利用者が約三万五千人で、約一億六千万円の赤字となり、累積赤字は約三十三億円に達した。親会社の西武鉄道などのグループ再編も絡み、近江鉄道が今年十月で経営から撤退。地元を中心にスキー場の存続を望む声が上がっている。